

診断群分類別患者数等

(診療科別患者数上位5位まで)

集計方法と定義

・診療科別に症例数の多いDPCコードの患者数、平均在院日数(自院)、平均在院日数(全国)、転院率、平均年齢を表にまとめたものです。

【消化器外科】

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	61	6.90	9.08	0.00	68.31
060330xx02xxxx	胆嚢疾患 (胆嚢結石など) 腹腔鏡下胆嚢摘出術 等	26	6.54	6.82	0.00	58.02
060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	25	3.96	5.60	0.00	34.86
060020xx02x0xx	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍 手術等 手術・処置等2なし	17	17.76	17.65	0.00	69.95
060040xx02x00x	直腸肛門 (直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 肛門 悪性腫瘍手術 切除等 手術・処置等 2なし 定義副傷病なし	17	15.94	17.98	5.88	70.76

解説

・DPC コードは治療内容、病態により複雑に分類されるため、K コードで分類された消化器外科手術とは内容が必ずしも一致するとは限りません。鼠径ヘルニア(15 歳以上)ヘルニア手術 鼠径ヘルニア定義副傷病なし(060160x001xxxx)については ヘルニア手術 鼠径ヘルニア(K6335)が短期滞在手術3に該当し、診断群分類別患者数(診療科別)の集計対象外となっております。虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等(060150xx03xxxx)については 腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの(K718-21)と虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの(K7181)の手術を含みます。若年層に多い疾患のため、平均年齢では34.86歳と腸閉塞の半分となっております。胃(060020xx02x0xx)と直腸(060040xx02x00x)の悪性腫瘍が同数でランクインしており、手術ありの症例です。圏外に結腸の悪性腫瘍(060035xx01000x)手術ありの症例が16件となっており、大腸の悪性腫瘍手術ありの症例は33件となっております。